



小郡市立小郡中学校 令和6年1月9日

小郡中学校だより 第198号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

令和6年1月1日(月)に能登半島を中心としたエリアで発生した地震と津波により、被災された皆様、ご家族をご心配しておられる皆様に心からお見舞い申し上げます。現在も被災地では余震が断続的に発生しており、多くの方々が不安な時を過ごされていることと存じます。被災地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

あけましておめでとうございます 【『ちょっとぐらい…』はとても危険！】

新年 あけましておめでとうございます。

それぞれの思いで令和6(2024)年を迎えられたことと思います。3年生のご家庭では、「本当のおめでとうは3月末です」ということでもあろうかと思いますが、新年を健やかに迎えられましたことを、まずは共に喜びたいと思います。また旧年中は、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて 今日からスタートする3学期は年度の最後の学期、つまりまとめの学期となります。

3年生にとっては、受験という大きな山が目の前に迫っていますが、義務教育9年間の最終学期として、有終の美を飾ってほしいと願っています。がんばってください。

また、1、2年生は、2、3年生へ進級するための出発準備をする学期です。1年生は人権フォーラム、2年生は修学旅行と行事での成長はもちろん、これまでの学習や生活を顧みて不足を補い、完成に近い形としてまとめ上げる努力をしてほしいと思います。

2学期の終業式で退任の挨拶がありましたが、生徒会拡大執行部のみなさん、本当にお疲れ様でした。前向きに仕事をしてくれ、感謝しています。本日、紹介がありましたが、新生徒会役員のみなさんは、更なる充実・発展を期してがんばってほしいと思っています。新生徒会役員のみなさんを中心に、「生徒一人一人が安心でき、互いに大切にされていると実感できる学校」を全員でつくってほしいと願います。

今号では、そんな学校をつくるために、意識してもらいたいことを伝えたいと思います。

みなさんは、「ちょっとだけならいいじゃん」「ちょっとぐらい大丈夫でしょ」「ちょっとぐらいならたいした問題にならないからいいじゃん」って、このような『ちょっとぐらい…』って、ありませんか？



ちょっとだけ時間に遅れちゃったけど… ちょっとだけ、貸して…

ちょっとだけ掃除をさぼってもいいか… ちょっとなら…

一度はやったことがある経験だと思いが、実はこの考え方はとても危険だと言われています。いくつか危険な理由はあるのですが、特に何が危険なのかと言いますと、「ちょっとだけやる程度なら大丈夫」という姿勢です。

集団(組織)という視点で考えると「これくらい大丈夫でしょ」という感覚は、一人が持つ

ていると、組織にも伝染すると言われていいます。そして、その考え方を持っている人の影響が伝染する先は、その集団(組織)だけでなく、家庭や人間関係、ウェブサイトの書き込みとや金銭感覚でも、全てにその姿勢で取り組む可能性の「種」を植えてしまうということです。ただ、当の本人はそのようなことはを考慮せず、「一回だけだから大丈夫だろ！もう二度としないんだから」と思っているのですが、一度大丈夫だという経験を積んでしまうと、次も大丈夫だと思ってしまうのが人間の性なのです

そこで、みなさんに意識してもらいたいのは『ちょっとぐらい…』と思ったときに立ち止まり、行動を修正してほしいということです。その修正が集団の高まりや仲間関係をよいものにし、結果的には先ほど述べた「生徒一人一人が安心でき、互いに大切にされていると実感できる学校」になると思っています。

生徒のみなさん一人一人にとって充実した3学期、そして1年になることを期待します。

新生徒会が動き始めました！

昨年11月16日(木)に生徒会役員立会演説会がありました。演説会のあと、投票そして開票があり、新役員が決定しました。その後、専門委員長も選考され、右表のとおり決定していますので紹介します。

まずは本年度の生徒会執行部・専門委員長のみなさん、悩むことも多い1年間だったと思いますが、リーダーシップを発揮してくれたおかげで、行事や学校生活がスムーズに進んでいきました。本当に感謝しています。生徒会活動を継続・発展させるためにも、できたこと、効果があった方法、残された課題等を新執行部・専門委員長へと確実に伝えてほしいと思います。

たすきを渡された新執行部・専門委員長のみなさんは、先輩方からのアドバイスを参考にして、公約として誓ったこと、残された課題等をどうしていくかを考え、実行に移していくようにがんばってください。

今日から新執行部・専門委員会が本格的に動き始めます。この冬休みには生徒会リーダー研修会も行い、リーダーとしての心構えや具体的な活動の確認、またこれまでの学校生活を振り返り、生徒会の課題解決をどう具体化するかを時間をかけ協議しています。執行部・委員長としてよりよい生徒会にするための活動をしてけると期待しています。

2024(令和6)年度 生徒会執行部・専門委員長	
執行部	会長
	副会長
	書記
	会計
	執行委員
専門委員長	生活
	学習
	環境
	文化
	給食
	体育
	図書 保健



冬休みのリーダー研修会の様子

日本管弦打楽器ソロコンテスト〈 さん〉 おめでとう！

昨年12月26日(火)に東邦音楽大学(埼玉県)で開催された日本管弦打楽器ソロコンテストで2年生の さんが中学生部門木管楽器の部で見事、金賞そして埼玉県芸術文化祭実行委員会会長賞を受賞しました。堂々としたすばらしい演奏を披露してくれました。入賞、おめでとう。





小郡市立小郡中学校 令和6年1月30日

小郡中学校だより 第199号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

全国の医療機関からの報告では、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの新規感染者が増えているということです。ぜひ、正しい手洗いや普段の健康管理などで感染を防ぐ努力を続けていきたいものです。

さて、3年生は高校入試の真っ最中。「努力の後に、喜びや楽しさは必ずやってくる！」…3年生は進路決定に向けて最大限の努力を続けてください。

2年生は明日から修学旅行となります。スローガン「成長」の達成に向けて、一人一人が役割を果たし、大きく「成長」できる修学旅行になることを願っています。



失敗は成功に向けたスタート地点…失敗の定義を変えてみましょう！

現在、昼休みと放課後は3年生の高校入試に向けての面接練習を行っています。練習といえども緊張感をもって臨んでくれているのですが、「失敗したくない」という思いや緊張の余り受け答えがうまく進まない生徒さんも多くいます。ただ、適度な緊張感はよい結果につながるというデータもありますし、練習では失敗していいのです。ただ、その失敗を本番に生かしてもらいたいと思っています。そこで今号では、失敗の定義について考えたいと思います。



「失敗したくない」「後悔したくない」という考え方は、誰もが思っていることです。失敗から学ぶためには、失敗を失敗だと認識しなければなりません。それなのに、私たちは後悔したくないから言い訳を探してしまいますよね。「自分のせいじゃないんだ。運命だったんだから」と。これでは、もう失敗から何も学べません。自分の行為を認めるのは容易ではありませんが、それをしない限り学ぶこともできません。だったら、失敗の定義を変えて、失敗は誰もがすることだと考えることが大切だと思います。失敗から何も学べないと思ってしまうことは、失敗を受け入れることよりもずっと恐ろしい事態なのです。

では、失敗を成功へと導く方法とは…。

「失敗は成功の母」という名言を生み出し、発明の神様として知られるエジソン。

しかし、その人生はつまずきの連続だったといえます。エジソンはどのようなことに対しても好奇心が強い子どもだったそうです。その強い好奇心のために、授業中に教師に対して「なぜ？」を連発し、勉強が理解できない子という負のレッテルを貼られてしまいます。

さて、そんなエジソンですが、後に世紀の大発見をしてその名を世界に轟かせます。その時に残した名言がみなさんも知っている「失敗は成功の母」という名言です。

しかしながらも、私たちは失敗続きでなかなか成功できないということばかりです。なぜ私たちは「失敗」を「成功の母」にできないのでしょうか。

その大きな原因に、失敗から多くを学べていないということがあげられます。

失敗というのはほぼ100%自分自身に対して嫌なことであり、すぐに忘れたいと思うのが普

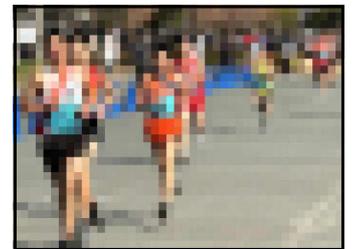


通です。しかし、まさにこの気持ちが失敗を成功の母にできないいちばんの理由なのです。その失敗がなぜ失敗となったのか。そして、どの選択肢で自分は間違ってしまったのか。その失敗（間違い）の原因を突き止めない限り、失敗は成功の母とはならないのです。エジソンは幼少期より、それが自然にできたのかもしれませんがね。

失敗は成功の母よりもずっとマイナーな名言ですが、エジソンはこんな名言も残しています。「私は失敗をしたことがない。ただ、1万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」失敗を失敗と捉えないちょっと不思議な考え方ですよね。でも、実はこれは学会などでよく使われている考え方なのです。仮にA、B、Cの手だてを考えたとします。その状況で、Aの方法を試してみたが思った通りの結果を得られることができなかった。それゆえにAという方法は適さない…といった発表が学会でよく議論されています。つまり、失敗は失敗ではなく、この方法ではうまくいかないから別の方法でやるべきという指針を見つけることができたと解釈されているのです。多くの人は失敗したところで終わりだと考えがちですが、実は失敗は成功に向けたスタート地点なんですよ。

筑後地区中学校新人駅伝競走大会 健闘しました！

1月16日(火)に大牟田市諏訪公園周回コースにて、筑後地区中学校新人駅伝競走大会が開催されました。女子は5位(37チーム参加)、男子は17位(34チーム参加)という結果でした。短期間の練習時間で調整が難しかったと思いますが、毎朝練習を積んできたみなさんのがんばりはすばらしく、しっかりと襷をつないでくれ、うれしく思いました。駅伝部のみなさん、本当にお疲れさまでした。



【健闘した筑後地区中学校新人駅伝競走大会】

明日(1月31日)から修学旅行 <2年生>

〈修学旅行スローガン〉 成長

2年生は明日から2泊3日の修学旅行です。1月12日(金)に修学旅行保護者会、17日(水)には人権・平和コンサートなどなど、修学旅行の成功に向けての学習や取組を進めてきました。

この修学旅行は現3年生が卒業した後に学校をリードしていく2年生のみなさんの訓練の場とも言え、人としても大きく「成長」できるよい機会です。平和や人権、歴史についてや仲間の知らなかった部分も知るようになるでしょう。知らないことをひとつでも多く知る修学旅行にしてほしいと思っています。



【人権・平和コンサートの様子】

入賞 おめでとう! <中学生人権作文コンテスト>

「中学生人権作文コンテスト福岡県大会」で1年生のさんが奨励賞を受賞し、1月23日(火)に本校で表彰式がありました。伝えたいことが明確で、内容もよく整理されたすばらしい作文だったと評価をいただいております。入賞、おめでとう。



【表彰を受けたさん】